

2017年7月4日

## ロシアヘリコプター組立プロジェクトが武漢に

武漢経済技術開発区の発表によると、北京明浩航空会社が投資して導入したロシアヘリコプター組立プロジェクトが当区の通航産業園で始動したという。このプロジェクトは10月に立ち上がる予定で、1台目の「武漢産」ヘリコプターが年内に飛び立つ見込み。

このプロジェクトのための敷地面積は65ムー(6435平方メートル)で、投資金が約12億元(204億円)、主にロシアヘリコプターシリーズの「カー32ヘリコプター」組立ラインと「アンサットヘリコプター」生産ラインを建てる。建設後、年間カー32ヘリコプターを10台組み立て、アンサットヘリコプターを50台生産することができ、年間生産高は30億元にのぼる。「カー32型」は我が国の森林消火、都市消防、工事での機械吊り上げなどの作業市場のシェア90%以上を占め、1台の売価が約1.2億元となる。アンサットヘリコプターは救急と医療救援の主要モデルとして幅広く応用され、1台の売価が約4000万元となる。

武漢経済技術開発区(漢南区)通航産業園の責任者の紹介によると、航空プロジェクトが絶えず園區に入ってくると同時に、武漢で初めての通航空港となる漢南通航空港も既に初步的段階に入っている。現在、本空港のターミナルビルは落成し内装段階に入っている。今年11月に、第1回目の世界飛行者大会の会場となり、2019年の第7回世界軍人運動会での空軍プログラムが行われる予定である。

2017年7月5日

## 武漢自動車購入成長率が引き続き低下

武漢市国税局車両購入税支局によると、同市の自動車購入成長率は引き続き低下しており、今年上半期、全市における課税された新車の車両数は前年比14.87%のマイナスで、27656台減り、減少率は去年の同時期に比べ11%上昇した。

課税された新車数は前年からの低下が明らかになったが、車両購入税による収入総額と平均納税額は大幅に増えた。データから見ると、上半期、同市の車両購入税収入は22.37億元(380億円)で、前年比10.55%上昇、2.28億元(39億円)増収した。課税車両の平均課税額は1.41万元(24万円)で、前年比31.86%上昇しており、1台あたり3000元(5万円)余り増えた。